

聖火ランナー

國峯清正さんにインタビュー



■聖火ランナーに選ばれたときの気持ちをお聞かせください。

選出メールが来たときはまだ信じられずにいました。翌日の新聞に自分の名前が載り、そこではじめて実感が湧いてきました。

■聖火ランナーを務めた感想をお聞かせください。

沿道に出ると、応援してくれるたくさんの人達の姿が見え、温かい声援が聞こえてきました。想像を超えた光景に鳥肌が立ちました。あの光景は一生忘れないと思います。

私は有名人ではないので「皆に元気を与える」という大きなことを言うつもりはありません。ただ、みんなでコロナ禍を乗り越えたいという気持ちを持って走っていました。

家族や仲間も応援に来てくれました。改めて、今の自分があるのは周りの人達のおかげだと感じることもできました。

■最後に一言お願いします。

正直なところ、このコロナ禍で聖火ランナーを務めてよいのか自分自身も複雑な気持ちでいました。しかし、応援してくれる人達や地元嵐山町のために自分のできることをという気持ちで走りました。

とにかく今は、無事にオリンピック・パラリンピックが開催されることだけを願っています。

また、警備や運営等この度の聖火リレー実施に携わっていただいた方々に感謝しています。

ウェルカムプログラム・ミニセレブレーション

太鼓会「嵐」による和太鼓演奏が行われ、聖火リレーを盛り上げました。



サポートランナー

町内の児童達がサポートランナーとして聖火と共に走りました。



東京2020オリンピック聖火リレー 希望の灯 嵐山町を走る



聖火リレーのトーチは日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフにしています。

第1走者

國峯

清正さん

埼玉県Day3第4区間（嵐山町・東松山市・滑川町）

7月8日、東京2020オリンピック聖火リレーが嵐山町を通過しました。嵐山町在住の國峯清正さんが第1走者を務めました。



次の聖火ランナーに聖火を受け渡すトーチキス

第1走者の國峯さんから第2走者の笠原駿さんに希望の灯は繋がれました。

トーチキスの後には2人で「頑張るぞ！オー！」とガッツポーズと共に掛け声。



聖火リレー裏話



2人の「頑張るぞ！オー！」の掛け声。何と練習なしのぶっつけ本番だったそうです。それでも聖火を手にした2人は息ピッタリ！お見事です！